

臨時上北農業生産情報

(8月9日から10日の大雨等による被害に対する事後技術対策)

令和3年8月13日

「攻めの農林水産業」推進上北地方本部

水田等で浸水・冠水などの被害がみられていることから次の点に留意して、被害の拡大防止に努めてください。

なお、ほ場の見回り等については、危険な場所には近づかず、安全を十分確保して慎重に行ってください。

1 水 稲

- (1) 土砂や流木等が流入した場合は、速やかに取り除く。
- (2) 畦畔や用排水路が破損した場合は、速やかに補修する。
- (3) 倒伏した場合は、可能な限り株起こしを行う。
- (4) 冠水したほ場では、可能な場合には動力噴霧機等で散水し、稲に付着した泥を洗い流す。

2 野菜・畑作

- (1) 浸水や冠水したほ場・園地では、明きょやポンプにより速やかに排水する。
- (2) 明きょに泥が流入した場合は、速やかに除去して補修する。
- (3) ながいもやごぼうのほ場で、穴落ちした場合は、速やかに修復する。
- (4) トマトで浸水したほ場では、草勢の低下を防ぐため、摘果や早採りで着果負担を軽減させる。また、水が引いたあと速やかに酸素供給剤を使用し、根の酸素欠乏状態を軽減させる。
- (5) ねぎで浸水したほ場は、雨が上がりある程度ほ場が乾いてから酸素供給剤を施用して培土する。
- (6) こかぶ等において種子が流出したほ場は、再度は種を行う。
- (7) 大豆のほ場で水が引いたあと葉に黄化がみられる場合、追肥を行う。
(追肥量：窒素成分で5～8 kg/10a)
- (8) 野菜では、葉色が淡くなるなど肥料欠乏がみられる場合は、速効性の肥料やカリ肥料を追肥する。
- (9) ながいもやごぼう等で茎葉が損傷を受けた場合は、病害がまん延しないよう、ほ場に入れる状態になりしだい速やかに薬剤散布による防除に努める。

3 畜産

- (1) ロールペールサイレージのストレッチフィルムが破損した場合は、破損部分を速やかに補修するとともに、できるだけ早く家畜に給与する。
- (2) 冠水等の被害を受けた飼料は、品質を見極め、十分注意して給与する。
- (3) 飼料用とうもろこしが倒伏し、今後の回復が見込めない場合は速やかに収穫・調製する。



県民の皆さまへのお願い
新型コロナウイルス感染拡大防止



<https://www.pref.aomori.lg.jp/koho/covid19kakudaiboushi.html>